

U5-2022-

# 専門記述

## 試験問題

### 注意事項

1. 問題は、憲法、民法、経済学、会計学、社会学の**5題**ありますが、このうち**1題**を選んで解答してください。
2. 解答時間は**1時間20分**です。
3. 答案用紙の記入について
  - (ア) 答案用紙は1枚(両面)です。
  - (イ) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
  - (ウ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。**問題番号欄には、解答した問題の番号(例えば憲法の場合は「1」)**を記入してください。
  - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
4. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
5. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
6. 下欄に受験番号等を記入してください。

|        |      |    |
|--------|------|----|
| 第1次試験地 | 受験番号 | 氏名 |
|--------|------|----|

**指示があるまで中を開いてはいけません。**

## 1. 憲法

私立のY大学は、外国の政府要人が国賓として来日した際、同氏の講演会を主催した。同大学の学生の参加に当たっては、学内に備え置かれた名簿(以下「本件名簿」という。)に希望者が学籍番号、氏名、住所及び電話番号を事前に記入して参加の申込みをし、参加証の交付を受けることが必要とされた。Yは、警察から、警備のために本件名簿の提出を求められ、その写しを提出したが、その際、本件名簿の提出に関して参加申込者の同意を得ることはしていなかった。Xは、Yから参加証の交付を受け、本件講演会に出席した学生であるが、YがXの氏名等が記載された本件名簿の写しを無断で警察に提供したことがXのプライバシーの侵害に当たるとして、Yに対し、損害賠償を請求した。

当該請求に含まれる憲法上の問題点について、その請求の当否とともに論じなさい。ただし、個人情報保護法については論じなくてよい。

## 2. 民法

次の問いに答えなさい。なお、(1)及び(2)は、それぞれ独立した問いであり、相互に関連しないものとする。

(1) AはBに500万円を貸したが、BがAに500万円を弁済しないまま、弁済期から11年が経過した後、Bは、Aから500万円を借りていたことを思い出し、「今は手元にお金がないため、500万円の弁済はもうしばらく待ってほしい」という手紙をAに送った。しばらくした後、AがBに対し500万円の弁済を求めたところ、Aの金銭債権の消滅時効が完成していることを知ったBは、Aの金銭債権は時効消滅しており、自身に500万円を弁済する義務はないと主張している。

この場合、AのBに対する請求が認められるかについて論じなさい。

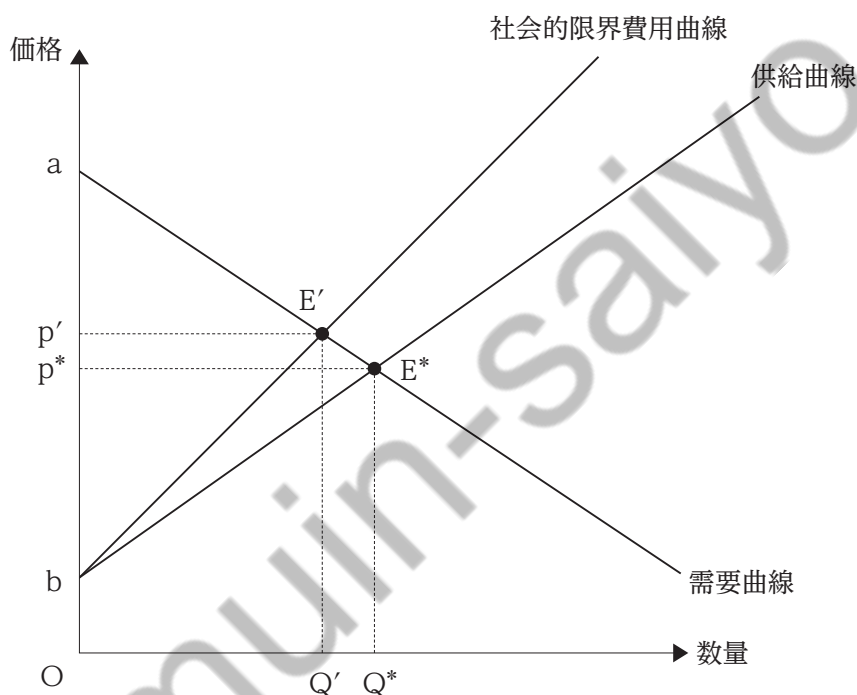
(2) Aは、Bに500万円を貸した際に、この500万円の金銭債権を担保するため、Cとの間で連帯保証契約を結んだ。その後、BがAに500万円を弁済しないまま、弁済期から7年が経過した。一向にBからの弁済がないため、AがCに対し500万円の弁済を求めたところ、Cは、AのBに対する金銭債権は時効消滅しており、自身に500万円を弁済する義務はないと主張している。なお、Aは、弁済期が到来した際、そのことを認識していたが、弁済期から7年が経過するまで、Bに対し一度も弁済の請求等をしていない。

この場合、AのCに対する請求が認められるかについて論じなさい。

### 3. 経済学

外部性に関する次の問いに答えなさい。

- (1) 市場の失敗における外部性について、「外部不経済」、「外部経済」に言及しながら説明しなさい。
- (2) コースの定理について、定理が成立するための条件も示しつつ、簡潔に説明しなさい。
- (3) ある企業は製品Xを生産すると、汚染物質を排出する。これにより、製品Xの市場では、社会的限界費用が私的限界費用を上回っており、家計の需要曲線、企業の供給曲線、社会的限界費用曲線は下図のようになっている。製品Xの市場が完全競争市場のとき、外部性を解決する方法の一つであるピグー税について、導入前後の総余剰の変化も示しながら下図を用いて説明しなさい。



### 4. 会計学

企業会計における期間損益計算の計算構造は、時代の経過とともに現金主義会計から発生主義会計へと移行してきている。これに関し、次の問いに答えなさい。

- (1) 損益計算書における収益と費用の概念について簡単に述べなさい。
- (2) 現金主義会計及び発生主義会計について、それぞれ利点と欠点にも触れながら説明しなさい。
- (3) 時代の経過とともに、企業会計が現金主義会計から発生主義会計へと移行してきている主な要因について説明しなさい。

## 5. 社会学

社会学における行為について、次の問いに答えなさい。

- (1) M. ヴェーバーが論じた社会的行為の定義と四つの類型について、それぞれ説明しなさい。
- (2) J. ハーバーマスが論じたコミュニケーション的行為について、説明しなさい。

koumujin-saiyo.jp